

洗足学園音楽大学 グリーン・タイ ウィンド・アンサンブル 2019年度演奏会

Senzoku Gakuen College of Music Green-Tie Wind Ensemble



Timothy Reynish

指揮 ティモシー・レイニッシュ

元英国ノーザン音楽大学指揮者



Douglas Bostock

指揮 ダグラス・ボストック

元東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者

本学客員教授

2019. 6.25 火曜日 18:30 開演 | 18:00 開場
18:15 プレトーク

Programme

R.ヴォーン・ウィリアムズ/トッカータ・マルチアーレ (F.L.パッティスティの校訂による原典版)
Ralph Vaughan Williams / Toccata Marziale (original version edited by Frank L. Battisti)

P.A.グレインジャー/ローマの権力とキリスト教徒の心
Percy Aldridge Grainger / Power of Rome and the Christian Heart

高 昌帥/ウインドオーケストラのためのマインドスケープ
Koh, Chang-Su / Mindscape for Wind Orchestra

伊藤 康英/彼がわたしたちに語ったこと
バリトンと吹奏楽のために
(2018年クドヴァン国際吹奏楽コンクール第3位入賞曲/日本初演)
Ito, Yasuhide / That which He taught us ...
for Baritone and band (3rd prize of Coups de Vents competition, 2018 / Japan Premiere)(2014)
バリトン独唱: 泉 良平

K.ハスケス/ダンスリーズ(セットII)
Kenneth Hesketh / Danceseries set II

A.ゴープ/クレタ島の舞曲
Adam Gorb / Dances from Crete



バリトン独唱

泉 良平

本学客員教授

2019. 12.10 火曜日 18:30 開演 | 18:00 開場
18:15 プレトーク



吹奏楽の古典名曲を
名匠・ボストックと Vol.10

Douglas Bostock Presents Masterworks for Winds Vol.10

Programme

V.ネリベル/アンティフォナーレ 金管六重奏と吹奏楽のために
Václav Nelhybel / Antiphonale for Brass Sextet and Band

P.A.グレインジャー/コロニアル・ソング
Percy Aldridge Grainger / Colonial Song

松下 功/天空の祈り~とうとき命に~
Matsushita, Isao / Prayer of the Firmament, Ode to Precious Life

伊藤 康英/ピース、ピースと鳥たちは歌う
Ito, Yasuhide / Peace, peace, so Sing the Birds

G.ホルスト/ハマーミス 吹奏楽のための前奏曲とスケルツォ
Gustav Holst / Hammersmith, Prelude and Scherzo for Band

Ph.スパーク/宇宙の音楽
Philip Sparke / Music of the Spheres

会場 洗足学園 前田ホール

入場料 ¥1,000 (各公演・全席自由)

JR南武線「武蔵溝ノ口」駅

東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅 南口下車徒歩8分

【主催】洗足学園音楽大学・大学院 【後援】「音楽のまち・かわさき」推進協議会

※写真・ビデオ等の撮影および録音は固くお断りいたします。

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

※公演内容は変更になる場合がございます。

※12月公演は「FUYUON!」期間中となりますので、音楽祭バスがご使用になれます。



小学生~



予約不要

ひと、音楽、未来、世界をつなぐ。洗足学園音楽大学は、音楽の学びと実践を通じて、豊かな社会づくりに貢献します。

SENZOKU

Senzoku Gakuen College of Music Green-Tie Wind Ensemble

洗足学園音楽大学 グリーン・タイ ウインド・アンサンブル 2019年度演奏会

洗足学園音楽大学 グリーン・タイ ウインド・アンサンブル

学園の色の一つ「緑」を冠した吹奏楽団。略称GWE。2009年、作曲家・伊藤康英(本学教授)と共に始動。作曲家の視点を交えた楽曲分析やこだわりの選曲が特徴。これまでに、ダグラス・ボストック、ティモシー・レイニッシュ、藤岡幸夫、秋山和慶、増井信貴、本名徹次といった名だたる指揮者を招聘。海外交流も積極的に行い、台湾、シンガポール、韓国にて交流演奏会を持つ。2016年には沼津(静岡県)公演を行った。2017年、WMC国際指揮コンクール予選マスタークラスのモデルバンドを務めた。藤岡幸夫氏がナビゲーションを務めるBSジャパン「エンター・ザ・ミュージック」にもたびたび出演。その他、福島県の伊達市歌レコーディングなど、活発な活動を行う。指導陣として、これまでに近藤久敦(本学講師)、仲田守(元本学講師)らをはじめとして、多くの指導教員の指導を仰ぐ。



GWE最新情報やメッセージ、SNSで続々発信中!

facebook

Twitter

Instagram

洗足の吹奏楽

facebook



作曲家・GWE運営責任者

伊藤 康英

本学教授



解説

ヨーロッパから、世界を代表する吹奏楽の指揮者お二人をお招きする。まずは、日本の作品がどう表現されるか。高昌帥作品は、レイニッシュ氏自身の選曲。そして、昨年急逝された松下功氏の作品は、ボストック氏の依頼により作られた吹奏楽版。今年生誕100年のネリベルを、グリーン・タイではライブワークのように取り上げてきた。中でも2015年の「トッカータ・フェ

ローチェ」の日本初演、2018年の「S-S-S」の世界初演は特筆すべき「事件」だった。今年は、名作「アンティフォナレ」を。同様にライブワークと呼ぶべきグレインジャー作品中、今年は代表作とも言える2曲を。また、これぞイギリスというヘスケスとゴープ作品も是非ご堪能いただきたい。吹奏楽の本格ともいうべきグリーン・タイのコンサートをこれ以上語るより、是非、会場にお越しください。



指揮

ティモシー・レイニッシュ Timothy Reynish

元英国ノーザン音楽大学指揮者

ケンブリッジ大学卒業後、サドラズ・ウェルズ・オペラ管、パーミンガム市交響楽団などで首席ホルン奏者を務める。指揮をジョージ・ハースト、チャールズ・グローヴス、エイドリアン・ポルト、ディーン・ディクソン、そしてシエナのキジアーナ音楽院にてフランコ・フェラーラに学んだ。ニューヨークのミトロプロロス国際指揮者コンクールの優勝者として、英国の主要なオーケストラを指揮。1975年、王立ノーザン音楽大学の大学院指揮科の助手として招かれ、その2年後に管打楽器科の主任に任命された。同大ではオペラの指揮も手がけ、「フィガロの結婚」「魔笛」「ラ・ボエーム」「期待」やプリテンの数々のオペラを指揮した。王立ノーザン音楽大学管弦楽団とは、ベートーヴェン、ブラームス、ドヴォルジャーク、チャイコフスキー、ブルックナー、マーラーらの交響曲、リヒャルト・シュトラウスの交響詩、ストラヴィンスキーの「火の鳥」「ペトルーシュカ」「春の祭典」、ヴェルディの「レクイエム」、ティベットのオラトリオ「我らの時代の子」などを指揮した。

レイニッシュは、世界屈指のウィンド・バンドおよびウィンド・アンサンブルの指揮者として知られている。王立ノーザン音楽大学では、ウィンド・オーケストラとウィンド・アンサンブルを世界最高の水準に引き上げ、また著名な作曲家たちに100曲以上の委嘱新作を作曲してもらい、音楽祭にも定期的に出演した。これまでアジアを始め、カナダ、南米、ヨーロッパ、米国でクリニックや講演、客演指揮およびコンクールの審査を行っており、Maecenas Music出版のエディターも務める。国際色に富んだレパートリーを収録した商業レコーディングは17枚におよび、最新盤は米国の沿岸警備隊バンドとの録音である。2015年はシドニー音楽院でウィンド・オーケストラの客演指揮者を7週間務めたほか、リスボン音楽院、香港およびドイツで演奏会を行った。昨シーズンは、ロンドンの王立音楽大学とトリニティ・ラバン大学、イサカ・カレッジ、シンガポールおよび米国などで演奏会を行った。 www.timreynish.com



指揮

ダグラス・ボストック Douglas Bostock

元東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者

ダグラス・ボストックは、現在スイスのアルゴヴィア・フィルハーモニック首席指揮者として、また1992年よりチェコ・チェンバー・フィルの首席客演指揮者として、ヨーロッパ、アメリカ、日本で幅広く活躍。2000年から10年間にわたって世界的に高い評価を受ける東京佼成ウインドオーケストラの常任指揮者、その後首席客演指揮者も務め、2010年のヨーロッパツアーも大成功に導いた。オペラの世界でも活動の幅を広げ、スイスのハルウィル・オペラ音楽祭の音楽監督も務めている。その他これまでカールスバッド響音楽監督及び常任指揮者、ミュンヘン響首席客演指揮者、コンスタンツ南西ドイツ・フィル音楽監督を歴任。

幅広いレパートリーの中でもイギリス、チェコの音楽の解釈は特別な評価を受けており、ウィーン古典派様式の新鮮かつ歴史的なアプローチは批評家、オーケストラ、聴衆にも賞賛されている。また現代音楽の熱心な擁護者でもあり、たびたび作曲家とのコラボレーションや初演にも取り組んでいる。

これまでBBC響、ロンドン・フィル、ロイヤル・フィル、ロイヤル・スコティッシュ管、ブラハ響、チェコ放送響、シュトゥットガルト室内管、北ドイツ・フィルなど欧米各国、日本でも新日本フィル、京都市響、名古屋フィル、アンサンブル金沢等のオーケストラと活発に指揮活動を展開。

レコーディングも数多く、中でもニールセン、シューマンの一連の交響曲集は国際的に高い評価を得ている。また現在進行中のプロジェクト「プリティッシュ・シンフォニック・コレクション」は、世界中の評論家、音楽ファンの注目を集めている。

東京藝術大学音楽学部招聘教授を歴任。本学客員教授。

www.douglasbostock.net

「洗足の吹奏楽」2019年度演奏会一覧 会場はいずれも洗足学園 前田ホール

5月3日(金) 9:30~15:30	吹奏楽コンクール課題曲クリニック	11月23日(土) 14:00~	フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:ティモシー・マー(作曲家・米セント・オラフ大学)
6月1日(土) 16:00~	自衛隊キャンパスコンサート 指揮:大澤 健一	12月2日(日) 19:00~	洗足子ども短期大学 幼児教育保育科ウインドバンド演奏会 指揮:ヤン・ヴァンデルロースト(客員教授)
6月25日(火) 18:30~	グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:ティモシー・レイニッシュ(元英国王立ノーザン音楽大学)	12月3日(火) 19:00~	吹奏楽指導者マスタークラス演奏会
6月29日(土) 18:00~	ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:原田 慶太楼(米シンシナティ交響楽団アソシエイト・コンダクター)	12月7日(土) 19:00~	洗足ウインド・シンフォニー演奏会 指揮:ジェリー・ジャンキン(客員教授・米テキサス大学)
7月5日(金) 19:00~	フレッシュマン・ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:増井 信貴(客員教授)	12月8日(日) 14:00~	ブルー・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:ケヴィン・セダトール(米ミシガン州立大学)
7月6日(土) 19:00~	洗足ウインド・シンフォニー演奏会 指揮:保科 洋(作曲家)	12月10日(火) 18:30~	グリーン・タイ ウインド・アンサンブル演奏会 指揮:ダグラス・ボストック(客員教授・元東京佼成ウインドオーケストラ首席)
7月23日(火) 19:00~	吹奏楽指導者マスタークラス演奏会		

